

## これでバッチリ！ ～歯周病対策～



「歯周病は、いつのまにか歯が抜ける怖い病気だ」ってよく言われますよね。でも歯周病は本来、そんな怖い病気ではありません。早めに病気に気付くことができれば、予防も治療も、ちっとも難しくないので。それなのに歯周病で困っている人が多いのは病状の悪化を見過ごしてしまった「手遅れ症例」があとを絶たないからなのです。

**「手遅れ症例」をなくすため、まずは一度、歯周病の検査を！**

### 歯周病の検査ってどんなことをするの？

歯ぐきのなかで病気が進行していないか調べます。歯ぐきにおおわれた骨(歯槽骨)が減っていないかエックス線で調べます。また、プローピングという検査では先の細いプローブという器具を歯周ポケットの中に挿入し、ポケットが深くなっていないか、出血しやすくなっていないかを調べるのです。

プローブの先端は  
メモリになっているよ！



歯周病は年齢のかたの病気という印象がありますが、じつは高校生くらいから徐々に始まります。治療が手遅れにならないように、高校生になったら一度、歯周病検査を受け、自分の歯ぐきのなかでどんな状態なのかをよく説明してもらいましょう。

### さらば！手遅れ症例



歯周病は歯周病菌が引き起こす感染症。風邪をよく引く人とめったに引かない人がいるように、歯周病の進行にも体質が関係するのは確かです。ただ、ほとんどの人が「進行しにくいタイプ」だということが多くの研究で明らかになっているのです。ただ、いくら進行しにくいといっても、数十年たてば「塵も積もれば何とやら」で骨がかなり減ってしまいます。手遅れ症例をなくすには、早期に歯周病の検査を受け、自分の体質に合った治療と予防プログラムを組んでもらいましょう。